

『芸術の秋』見つけた

市立病院・老人保健施設

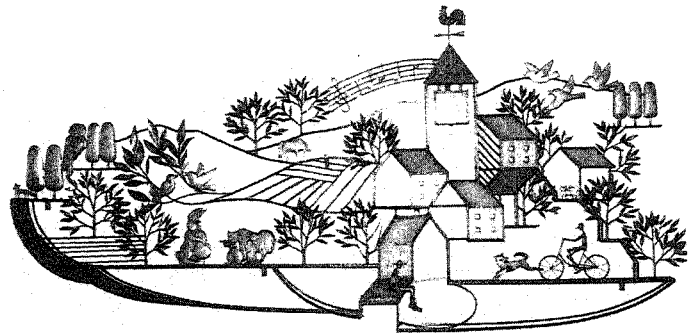
残暑も終わり、いよいよ芸術の秋の到来です。今年オープンした市立病院・老人保健施設には、ご好意により寄贈された絵画、彫刻、レリーフなどの作品が数多く展示されています。市立病院・老人保健施設は、まるで小さな美術館のようです。



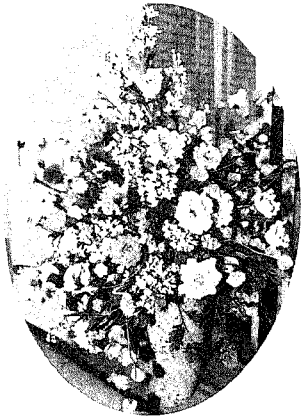
▲彫刻 中村和雄(都留文科大学助教授)作



▲絵画 河西万文(都留文科大学教授)作



▲レリーフ 安宅正路(都留文科大学助教授)作



▲パンフLOWER たまき会(代表 田所玉樹)作



▲書 宮澤正明(都留文科大学助教授)作



▲▼絵画 中山義典(都留文科大学名誉教授)作



ご存じでしたか

この絵をどこかでご覧になったことのある方は結構いらっしゃるでしょう。実は、市内井倉にお住まいの佐藤顯彦さんが第74回二科展デザイン部で建設大臣賞を受賞した作品で、今年、大阪で開催された『国際花と緑の博覧会』の公式ガイドマップの表紙として親しまれた絵です。

